

初心者流？エコ堆肥の楽しみ方

一生ごみ・落葉堆肥からー

HP＜びいの部屋＞ 管理人びい



2007 年 2 月、今住んでいる埼玉県志木市の知人に、お手製の生ごみ堆肥の入ったプランターをいただきました。植物には興味も関心も育てた経験もあまりないのですが、10 月から 3 月までほとんど日が当たらない劣悪な環境の玄関前で、けなげに育つ草木を眺めていたら、だんだん愛おしくなってきました。知人から教えられたとおり、土が減ると余分にくださった堆肥を足してきたせいか、初めから生えていたみつばなど、予想をはるかに超える＜収穫＞も、ありがたくいただいています。びいに育てられるかしらと最初はこわごわでしたが、しばらく経つと、緑は目を和ませてくれるし CO₂ も吸ってくれるし、思いがけない発見もいろいろあって、水遣りやちょっとした手入れが暮らしの楽しいリズムになってきました。

2008 年 5 月 12 日



土の中にも表面にも、いろいろ混じっています。生ごみ堆肥 だからです。いただいたときには土だけでしたが、秋に落葉で作った堆肥も届けてくださいました。早速敷き詰めておいたら春になっても、葉っぱや木の実が見られます。



なんでも堆肥になるのかなと他の鉢植えから剪定した小枝も加えちゃいました



去年の残り↑を青じそやみつばのまわり↑↓に敷き詰めました

青じそ 5 月 23 日



夏中 あとからあとからあとからあとから



去年よりたくましそう

9月9日 葉陰で



しその花を初めて見ました

— 生ごみ・落葉堆肥から —

青じそ 9月16日



パセリ

2008年5月23日 新しく鉢ごといただきました



6月6日 梅雨の晴れ間に

9月7日



パセリ 10月1日

一生ごみ堆肥・落葉堆肥からー



みつば 2007年2月にプランターをいただいたときから生えていました

2007年11月7日 …冬も枯れませんでした… 2008年3月6日



4月12日



4月22日

摘んでも摘んでも



5月23日

知りませんでした みつばにも花が咲くって



夏も葉が茂って花も咲き続けてるなあ
なんて眺めていたら
だんだんに枯れていき…
9月6日 そのまま落葉堆肥に?→

また生えてくるのかしら



みつば 9月16日 気づかなかっただけで、もう次が生えてきてました



ネットで調べて、2年草ってことばを知りました

10月1日



これからもお世話になれそう

生ごみ堆肥に含まれていた種から
育ってきたのは何？

2008年3月6日



3月23日



4月12日



5月12日



5月23日
やっと気がついて
日に当てる側を
変えました



6月6日
葉がこちらを
向いてきました



9月6日
ひと夏で
背丈が倍



10月1日



付記:

びいは、2003 年 8 月末に志木市に越してきました。当時は草が生え放題だった南側の空き地に、やがて3階建ての住宅がたち並び、夏以外は隙間からと西日の、わずかな時間しか日が差さなくなりました。そんな条件の悪い環境下なので、2007 年 2 月にプランターをいただいたときは、申し訳ないけど、たぶん育たないだろうなとあきらめていました。

でも、せっかくなので、ダメもとと思いつつ、教えられたとおり、表面の土が乾いたら水を遣り、全体に土が減ってきたら、最初にいただいた**生ごみ・落葉堆肥**の残りや、さらに届けていただいた分(左の写真玄関奥の白い袋)を足していきました。すると、こんなわずかな土からでも、植物の持つ生命力の強さ、ありがたさ、美しさを発見し、実感できる日常が始まりました。

これまで、エコ活動というものは特別な関心と熱意を持った人たちのなさること、びいにはとつても無理・・・と引け目を感じていたのですが、草木の生長を楽しみ始めた頃に、知人から「これだけでも CO2 の削減に貢献していますよ」と言われて、丸ごと関われなくても、自分の興味の範囲で続けられることもあとと知りました。



2009 年 1 月 17 日撮影



自己紹介:

びいは 15 年ほど前に、子育てしながらまちづくりをしようと突然目覚め、以来<女性の抱える問題><男女平等>を自分の課題として、出身の神奈川県平塚市、2 年ほど住んだとなりの茅ヶ崎市、今住んでいる志木市で、細切れですが市民活動をしてきました。

2007 年に 50 才になりましたが、その前から、そろそろ経験の中から学んだことを若い人たちに伝える年代かなと感じていて、同年 4 月、<こころのリハビリ><まちづくり>をテーマに、**HP<めぼっく21>**<http://www3.plala.or.jp/beebee/>を開設しました。

でも、一人の作業ですから試行錯誤・迷いの連続で、内容がなかなかまとめられずに悶々とする日々が続きました。それが11月の初め、玄関先でふと足元を見遣ると、平塚の知人にいただいた鉢植えの紅葉と、生ごみ・落葉堆肥のプランターから生えていたみつばの若葉が目飛び込んできました。友人からもらったまましまいでいたカメラを探して写真におさめ、ほんの思いつきで趣味のページ<びいの部屋>に載せてみました。すると市民活動で知り合ったお二方から、「きみの写真おもしろいから続けてアップしてみたら」とすすめられました。

翌 2008 年になると、春から夏、秋と、草木の生長は日陰でもめざましく、それにつれ撮影回数が増え、さらに外の風景やイベントなども撮るようになり、おかげで HP の容量が大きくなりすぎてしまい、11 月に、<びいの部屋><http://beesroom.ehoh.net/>を独立させました。

こうして、2 年前の冬、知人から突然届けられたプランターから、びいの世界も、人との交流も広がり続けています。

「そうか、この HP づくりは、誰のためでもない、自分自身のために必要だったんだ」、そして、HP を通して若い人たちに伝えたかったのは、こういう<人と人とのつながり>なんだと、生ごみ堆肥・落葉堆肥はめぐり巡って、びいに気づかせてくれました。

2009 年 1 月 20 日

HP<びいの部屋>管理人 びい



※下記ページから写真抜粋:<びいの部屋>→びいのプチギャラリー→

フォト玄関前 2008 年 青じそ・パセリ・みつば

<http://beesroom.ehoh.net/piccolagalleria/foto2008piantine1.html>

フォト玄関前 2008 年 その他の草

<http://beesroom.ehoh.net/piccolagalleria/foto2008piantine2.html>